

2023 年度(令和 5 年度) 事業報告書

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

一般財団法人 山縣記念財団

I 2023 年度決算について (以下千円未満は切捨)

(正味財産増減計算書)

- a) 2023 年度の経常収益は、基本財産運用益が分配金を受け取らなかったため 0 となり、それ以外は受取会費 9,000 千円等のみで、昨年度得られた雑収入がなかったため、前年度比 5,139 千円の減少となった。
- b) 一方、経常費用は 42,295 千円 (前年度 40,852 千円) となり、前年度比 1,443 千円増加した。
- c) 評価損益等調整前当期経常増減額は▲33,295 千円 (前年度▲26,712 千円) となり、前年度比 6,582 千円の減少となった。
- d) また、基本財産等の評価損益等が+23,434 千円 (前年度▲41,672 千円) 発生した。
- e) 当期末正味財産は、364,706 千円 (前年度 374,566 千円) と前年度比 9,860 千円の減少となった。
(p. 15~16 公益目的支出計画 前年度対比/期初予算対比)
- f) なお、公益目的支出計画は認可を受けた年間支出金額 29,902 千円に対し実績は 32,367 千円と 2,465 千円計画を上回った。
(正味財産の推移)
- g) 2012 年度計画開始以降の公益目的支出実績累計額は 365,149 千円となり、目標累計額 358,821 千円 (=29,901,791 円×12 年) を上回った。

II 実施事項

1. 継続事業 1: 普及・啓蒙事業

学術研究誌『海事交通研究』(年報) 第 72 集発行

合計 8 件の論文等 (内、査読論文 3 件、論文以外 5 件) を掲載し、2023 年 12 月 13 日発行、海運・物流関係者など約 400 先に配布した。

2. 継続事業 2: 表彰事業 (2023 年山縣勝見賞)

2023 年 7 月 18 日、4 年振りに、鉄鋼会館にて受賞者、関係者を招いて贈呈式を開催した。

受賞著作・論文・受賞者は以下の通り。

- ・著作賞: 伊藤 玄二郎編『船の仕事 海の仕事』
- ・論文賞: 吉田 正則著「人間工学とルール形成戦略からの自動運航船に関する国際規則と技術革新の同時構築」および
亀井 志聖著「自動車運搬船の貨物積載時における甲板強度判定方法に関する研究」
- ・功労賞: 庄司 邦昭氏 (東京海洋大学名誉教授)
- ・特別賞: 滋賀県立びわ湖フローティングスクール

3. 継続事業 3: 助成事業 (海事関係団体などへ支援と協力の強化)

(1) 2023 年度助成については、9 事業 (7 団体/個人) に対し 270 万円助成することが承認され、全額実行された。

- ① 日本海洋少年団連盟: 「褒状山縣賞」授与事業 (20 万円)
- ② 日本海洋少年団連盟: 「我ら海の子展」事業 (10 万円)

- ③日本海洋少年団連盟：カヌー等整備事業（30万円）
 - ④東京海洋大学海事普及会：「海と船の教室」（30万円）
 - ⑤NPO 法人故郷の海を愛する会：海から始まる物語 IN 2023（10万円）
 - ⑥（公財）帆船日本丸記念財団（横浜みなと博物館）：令和5年度企画展「関東大震災100年 船と港から見た関東大震災」（50万円）
 - ⑦海部陽介（東京大学総合研究博物館教授）：東京大学総合研究博物館特別展示「海の人類史 パイオニアたちの100万年史」（50万円）
 - ⑧大河内美香（東京海洋大学学術研究院准教授）：海上輸送路における中立国船舶としての日本商船の保護—事例研究と法制度調査を中心に—（30万円）
 - ⑨松田琢磨（拓殖大学商学部教授）：コンテナ海運業の企業合併と港湾への寄港の変化に関する研究（40万円）
- (2) 日本海洋少年団連盟主催の第51回「我ら海の子展」の最終審査会(2023年7月14日)と授賞式(2023年8月18日)に、郷古理事長と八木常務理事が出席し、郷古理事長より「山縣記念財団理事長賞」を贈呈した。また、2023年度「褒状山縣賞」の授賞式(2024年3月22日)に、郷古理事長と八木常務理事が出席した。

III 登記事項

2023.6.19 郷古達也、松尾泰彦、久下浩一、苦瀬博仁 理事重任

八木利幸、中島正歳 理事就任

郷古達也 代表理事重任

高田富夫 理事退任

杉山裕一郎 監事就任

堀江孝 監事退任

以上 2023.6.27 登記

2023.9.29 松尾泰彦 理事辞任

2023.10.2 登記

IV 会議などの実施状況

以下に記載した合計19件の会議を行った。

2023年5月8日より新型コロナ・ウイルス感染症が「5類」に移行し、以後の会議は原則として対面で開催することとした。

1. 理事会・評議員会等

No	開催日	場所/会議名	内容
(1)	2023. 5. 24	財団事務所 定時理事会	<ul style="list-style-type: none"> ① 2022年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。 ② 2023年山縣勝見賞答申案を承認。 ③ 2023年度助成申請予定出版企画の件につき「方針稟議」が承認されるも、本件のような復刻版に対する出版助成が、当財団の目的に沿っているかどうか検討すべきとの指摘があった。 ④ 定時評議員会の日時(6月19日)、場所(財団事務所)、議題を承認。 ⑤ 資産の運用状況につき報告。 ⑥ 公益目的支出計画達成後の財団運営につき、可能性の高い順に、 ①合併・事業譲渡、②事業を可能な限り後、解散、③事業の縮小・

			<p>追加・変更、④遺贈・寄附金の取込みとなるが、今後これらを軸に、絞り込むこととした。</p> <p>⑦ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況につき報告。</p> <p>⑧ 年報第 72 集の進捗状況について報告。</p>
(2)	2023. 6. 19	web にて 定時評議員会	<p>① 2022 年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。</p> <p>② 理事に八木利幸および中島正歳を新たに選任し、郷古達也、松尾泰彦、久下浩一、苦瀬博仁の重任を承認。監事に杉山裕一郎を新たに選任した。理事高田富夫及び監事堀江孝は任期満了により退任した。(以上同日付)。</p> <p>③ 資産の運用状況につき報告。</p> <p>④ 公益目的支出計画達成後の財団運営につき、可能性の高い順に、①合併・事業譲渡、②事業を可能な限り後、解散、③事業の縮小・追加・変更、④遺贈・寄附金の取込みとなるが、今後これらを軸に、絞り込むこととした。</p> <p>⑤ 2023 年山縣勝見賞答申案が理事会承認された旨報告。</p> <p>⑥ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況につき報告。</p> <p>⑦ 年報第 72 集の進捗状況について報告。</p>
(3)	2023. 6. 1 9	財団事務所 臨時理事会	<p>① 代表理事（理事長）に郷古達也を選定。</p> <p>② 業務執行理事（常務理事）に松尾泰彦、久下浩一、八木利幸を選定。</p> <p>③ 「費用別会計区分仕訳取扱細則」における個人従事割合・全体従事割合を改定。</p>
(4)	2023. 9. 20	e メールにて 臨時理事会	松尾常務理事退任（2023 年 9 月 29 日付）に伴う役員退任特別功労加算金支給の件について承認。
(5)	2023. 11. 10	財団事務所 臨時理事会	<p>① 基本財産の一部取崩しを「クアトロ」から行うことを承認。</p> <p>② 「年報掲載作品編集委員会内規」制定につき承認。</p> <p>③ 「査読要領」改定につき承認。</p> <p>④ 臨時評議員会の日時（11 月 27 日）、場所（財団事務所）、議題を承認。</p> <p>⑤ 事業活動及び収支状況の中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況につき報告。</p> <p>⑥ 基本財産等の運用状況につき報告。</p> <p>⑦ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告。</p> <p>⑧ 年報第 72 集掲載論文につき報告。</p> <p>⑨ 年報第 73 集の募集要領等につき報告。</p> <p>⑩ 2024 年山縣勝見賞の募集要領等につき報告。</p> <p>⑪ 2024 年度補助金助成の募集要領等につき報告。</p>
(6)	2023. 11. 27	財団事務所 臨時評議員会	<p>① 運転資金充当のための基本財産の一部取崩しをクアトロから行うことを承認。基本財産に多額の含み損が出ている現状に鑑み、損切り基準設定につき理事会・評議員会で審議するよう指示があった。</p> <p>② 事業活動及び収支状況の中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況につき報告。</p> <p>③ 基本財産等の運用状況につき報告。</p> <p>④ 「年報掲載作品編集委員会内規」制定につき報告。</p> <p>⑤ 「査読要領」改定につき報告。</p> <p>⑥ 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告。</p> <p>⑦ 年報第 72 集掲載論文につき報告。</p> <p>⑧ 年報第 73 集の募集要領等につき報告。</p> <p>⑨ 2024 年山縣勝見賞の募集要領等につき報告。</p>

			⑩ 2024 年度補助金助成の募集要領等につき報告。
(7)	2024. 1. 30	webにて 臨時理事会	① 基本財産のうちグロイン・マイルドの下限（損切り）基準▲30%のみ承認され、グロイン・マイルドの上限基準とクアトロの上/下限基準については審議未了となった。 ② クアトロ、グロイン・マイルドの売却代金の預け替え先を定期預金に限定するのではなく、余剰の資金に関しては、値上がり期待出来る商品等も含めることとした。 ③ 運転資金充当のための基本財産の一部取崩しをクアトロではなく、含み損のあるグロイン・マイルドから行うことに変更した。 ④ 3 月の理事会・評議員会で、資産管理規程の改定につき付議し、①で審議未了の件等につき審議することとした。
(8)	2024. 1. 30	webにて 臨時評議員会	上記(7) 臨時理事会内容につき承認。
(9)	2024. 3. 15	eメールにて 臨時理事会	臨時評議員会の日時（3月25日）、場所（財団事務所）、議題を承認。
(10)	2024. 3. 21	財団事務所 定時理事会	① 2024 年度事業計画・収支予算・公益目的支出計画を承認。 ② 2024 年度補助金助成答申案を承認。 ③ 2023 年度の資産運用状況につき報告。 ④ 年報第 73 集、山縣勝見賞、出版助成の進捗状況につき報告。 ⑤ 資産管理規程の改定作業の進捗状況と山縣評議員の指示につき報告し、4 月にワーキンググループによる審議を経て、作業を進めることとした。
(11)	2024. 3. 25	財団事務所 臨時評議員会	① 2024 年度事業計画・収支予算・公益目的支出計画を報告。 ② 2023 年度の資産運用状況につき報告。 ③ 2024 年度補助金助成答申案が理事会承認された旨報告。 ④ 年報第 73 集、山縣勝見賞、出版助成の進捗状況につき報告。 ⑤ 資産管理規程の改定作業の進捗状況と山縣評議員の指示につき報告し、4 月にワーキンググループによる審議を経て、作業を進めることとした。

2. 年報掲載作品編集委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2023. 8. 7	webにて	① 年報第 72 集（2023 年 12 月発行予定）掲載予定の申請作品 5 件および依頼論文で査読希望の作品 1 件の査読可否について、3 件はそのまま送って査読を依頼するが、他の 3 件については、追加の査読者を依頼するか、若しくは編集委員会のコメントを付して査読を依頼することになった。 ② 当方から執筆を依頼した 6 件の内 2 件の掲載可否につき、内容が本誌にそぐわないとの意見があり、他誌への掲載や第三者に意見を求める等を含め対応について協議。他の 4 件は必要な修正後掲載予定 ③ 査読報告書に対する「執筆者対応表」フォームについて事務局案通り改定することになった。
(2)	2023. 9. 21	財団事務所	① 査読対象論文 6 件の査読結果を受け、審議の結果、全 6 件の掲載可否とカテゴリー（研究論文か否か）については、10 月 18 日までに修正を求め、11月6日開催の次回委員会で最終決定することとした。 ② 依頼作品 5 件についても、10月18日までに修正を求めることとした。 ③ 査読報告書の総合評価方法の改定、査読者への対応、掲載のカテゴリーおよび順番等について、次回委員会で協議することとした。

(3)	2023. 11. 6	財団事務所	<p>① 査読対象論文 4 件（10 月に 2 件辞退）につき、1 件（福山作品）は「研究ノート」としての掲載可否を査読者に聞き、1 件は「不掲載」と判定した査読者に掲載とした経緯につき説明し、2 件は修正を確認後掲載可とした。</p> <p>② 論文以外の 5 件は、修正を確認後掲載可とした。</p> <p>③ 2024 年第 73 集募集要領及びテーマ候補について協議した。</p> <p>④ 前回委員会で問題提起された懸案に対する回答を盛り込んだ「年報掲載作品編集委員会内規」および「査読要領」を制定することを提案し、賛同を得た。</p>
(4)	2023. 11. 14	e メールにて	2023 年 11 月 6 日開催委員会（議題①）を受け、査読者に再度聞いた結果を踏まえメールで審議を行った処、福山作品は委員会として掲載しない旨を決定した。
(5)	2024. 3. 19	財団事務所	<p>① 年報第 73 集（2024 年予定）の論文等執筆申請 10 件（うち 7 件は査読付き論文として、3 件はレポートとして申請）について審議し、全 10 件の執筆申請を受諾した。</p> <p>② 申請件数が 10 件を下回ったので、追加執筆依頼候補先リストの中から、「渋沢栄一と海運」の原稿執筆を打診することとした。</p>

3. 山縣勝見賞選考委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2023. 5. 15	財団事務所	<p>① 2023 年山縣勝見賞受賞候補として、著作賞 1 件、論文賞 2 件、功労賞 1 件、特別賞 1 件を選定し、理事会に答申することとした。</p> <p>② 各賞の選定に際して気付いたこと等につき、話し合った。</p>
(2)	2023. 7. 18	鉄鋼会館	贈呈式開催。受賞者 5 名、随伴者 2 名、財団常勤理事 4 名、計 11 名出席。

4. 助成審査委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2024. 3. 15	財団事務所	14 申請先による 16 事業、700.2 万円の申請に対し、12 事業へ 230 万円の助成を行うことを内定し、理事会に答申することとした。

以上